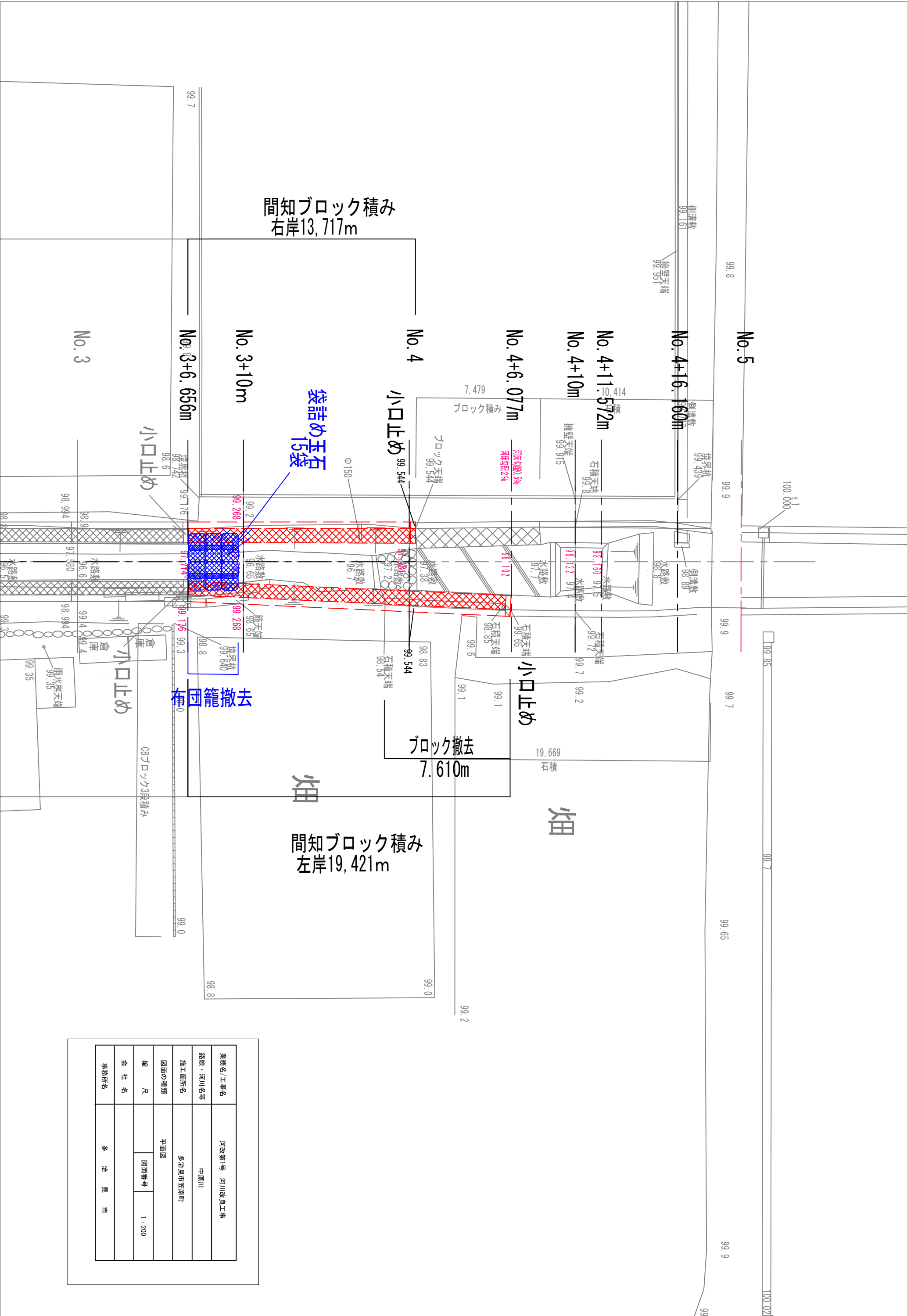
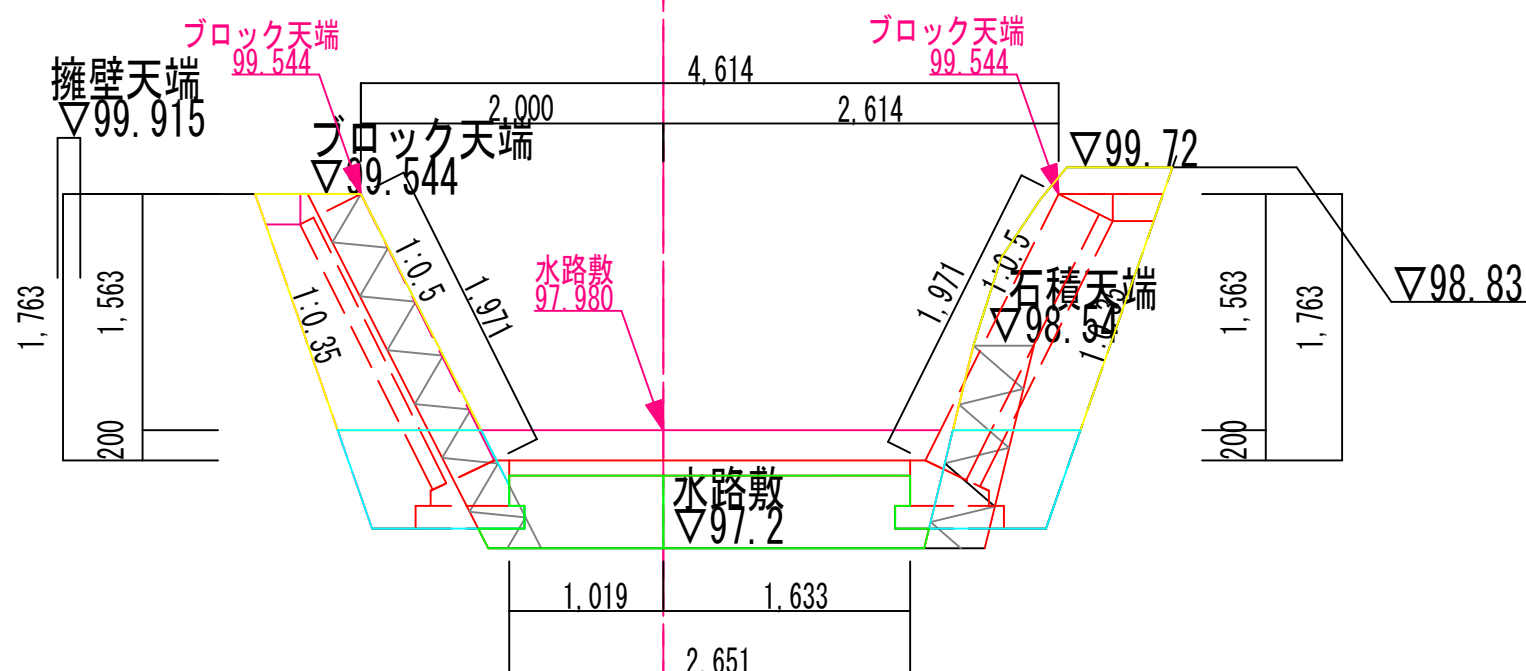


業務名/工事名	河改第1号、河川改良工事		
路線・河川名等	中原川		
施工箇所名	多治見市立第四町		
図面の種類	位置図		
縮尺	図面番号	葉之内	
会社名			
事務所名	多治見市		

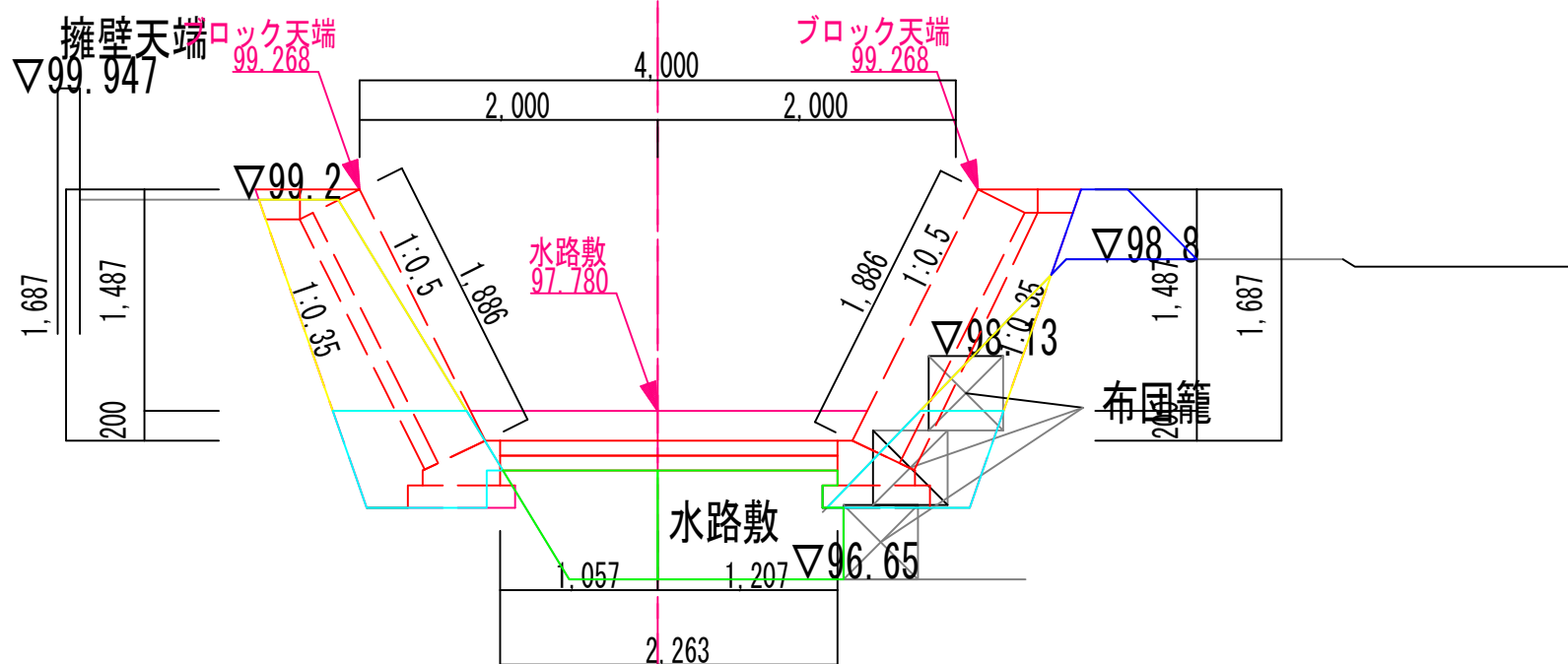


業務名/工事名	河改第1号 河川改良工事		
路線・河川名等	中原川		
施工箇所名	多治見市笠原町		
図面の種類	平面図		
縮 尺		図面番号	1 : 200
会 社 名			
事務所名	多 治 見 市		

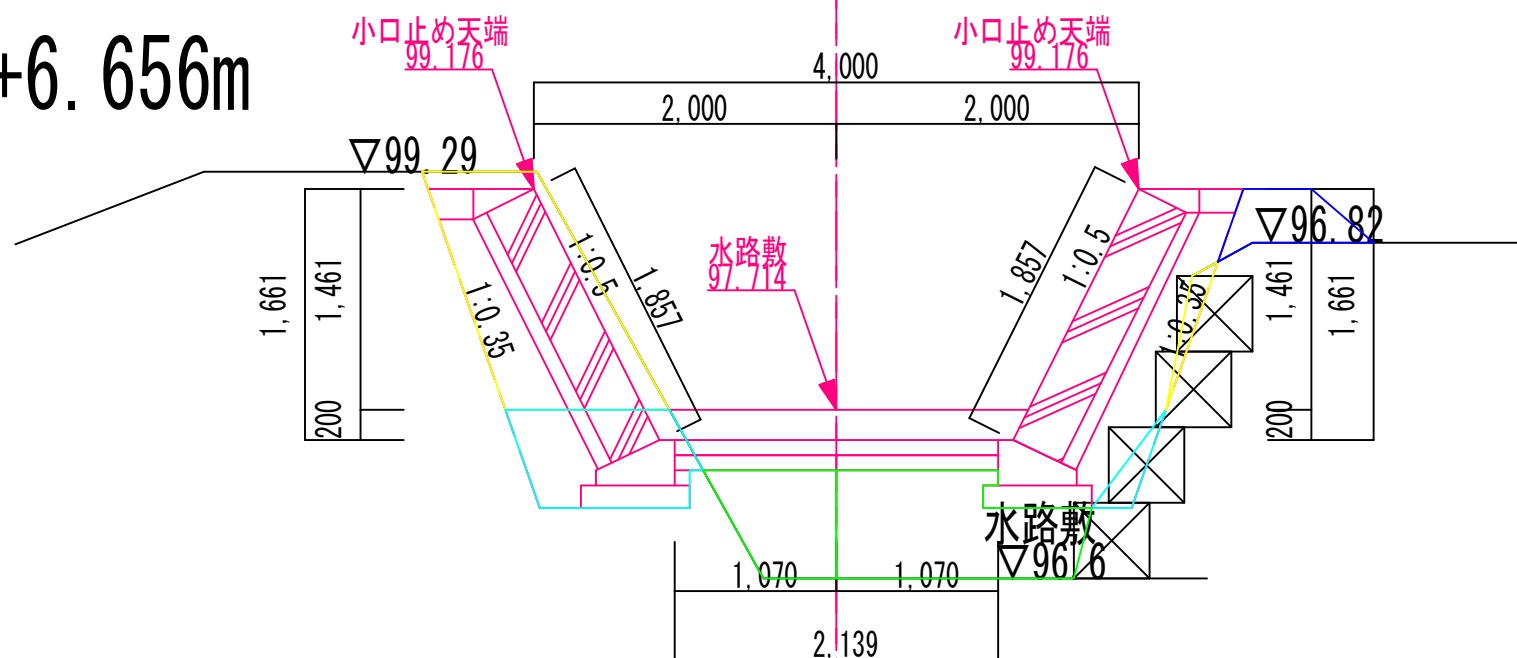
# No. 4



No. 3+10m

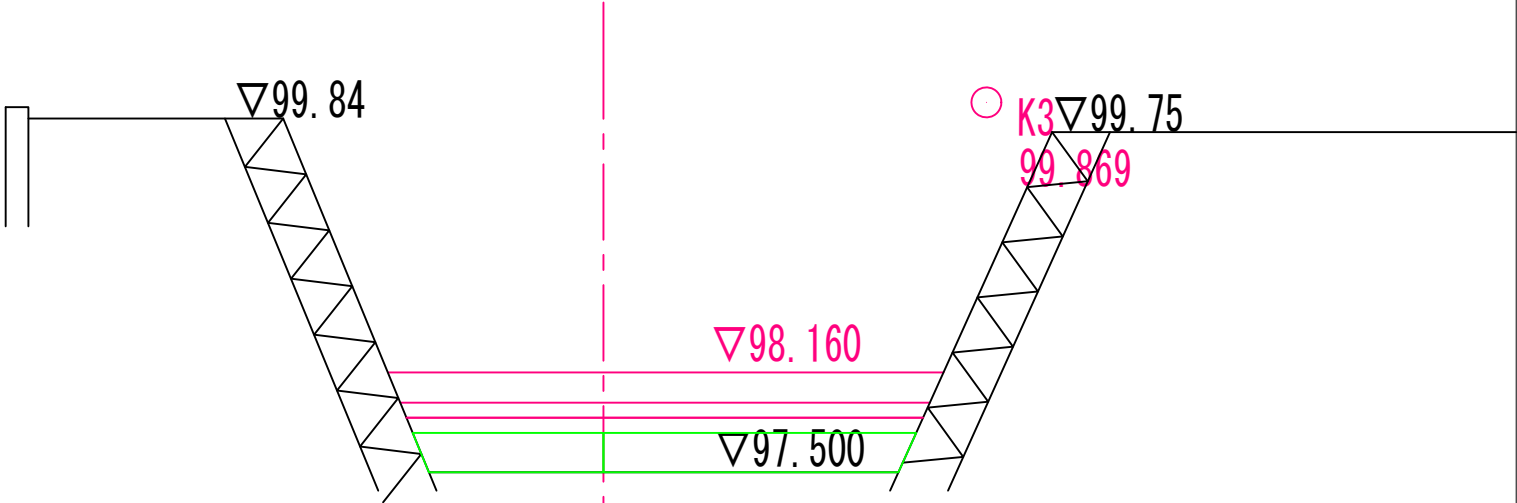


No. 3+6. 656m

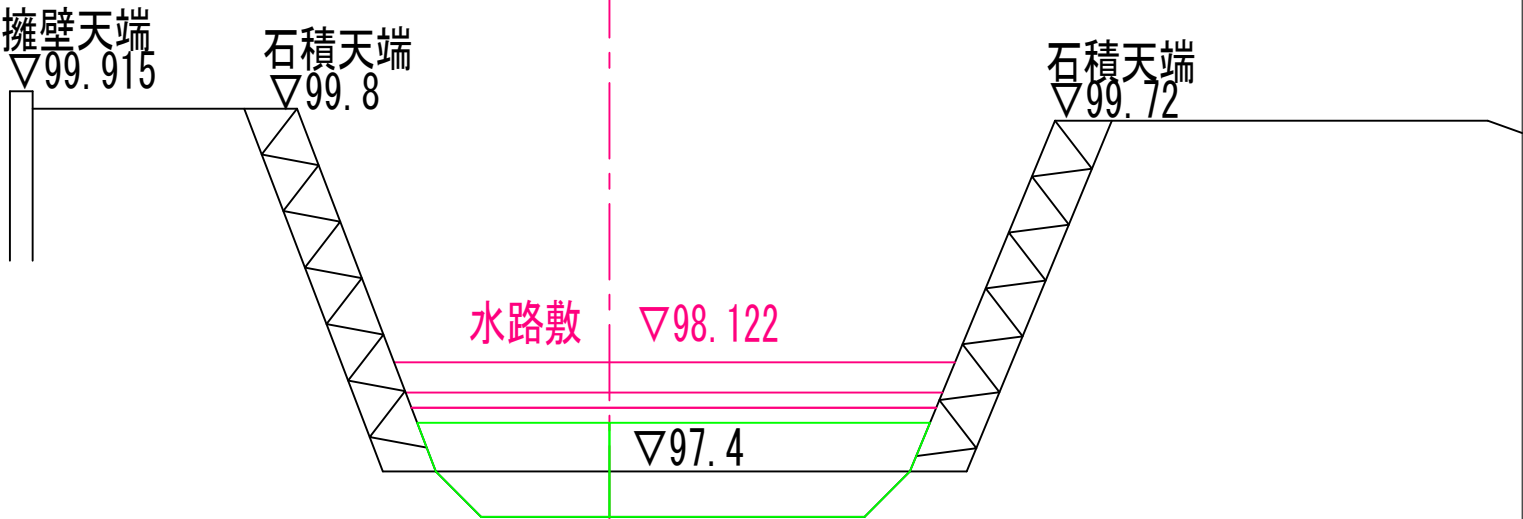


業務名/工事名	河改第1号 河川改良工事		
路線・河川名等	中原川		
施工箇所名	多治見市笠原町		
図面の種類	断面図		
縮 尺		図面番号	1 : 50
会 社 名			
事務所名	多 治 見 市		

No. 4+11.572m



No. 4+10m

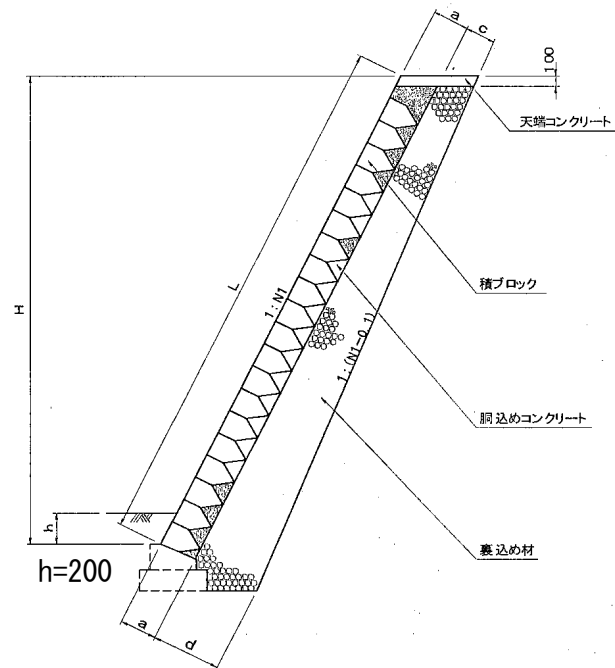


業務名/工事名	河改第1号 河川改良工事		
路線・河川名等	中原川		
施工箇所名	多治見市笠原町		
図面の種類	断面図		
縮 尺		図面番号	1 : 50
会 社 名			
事務所名	多 治 見 市		

03-RM-2(H( )-U( )-N1( ))-H12  
(高さ) (裏込め土の種類) (前面勾配) (制定年度)

擁壁—ブロック積(石積) 擁壁(練積) (河川護岸用)

標準断面図(河川護岸用)



寸法表

H(直高)	L (のり長)			按長	裏込め材厚さ							
	N1 (前面勾配)				U <sub>1</sub> (裏込め土が良好な場合)				U <sub>2</sub> (裏込め土が普通な場合)			
	1:0.3	1:0.4	1:0.5		a	c	d		c	d		
(m)	1:0.3	1:0.4	1:0.5	a	c	1:0.3	1:0.4	1:0.5	c	1:0.3	1:0.4	1:0.5
1.00	1044	1077	1118	350	200	339	335	330	300	439	435	430
1.50	1566	1616	1677	350	200	387	381	374	300	487	481	474
2.00	—	2154	2236	350	200	—	427	419	300	—	527	519
2.50	—	2693	2795	350	200	—	474	464	300	—	574	564
3.00	—	3231	3354	350	200	—	520	509	300	—	620	609
3.50	—	—	3913	350	200	—	—	553	300	—	—	653
4.00	—	—	4472	350	200	—	—	598	300	—	—	698
4.50	—	—	5031	350	200	—	—	643	300	—	—	743
5.00	—	—	5590	350	200	—	—	687	300	—	—	787

材料表

(1m当たり)

H(直高) (m)	裏込め材 (m <sup>3</sup> )					
	U <sub>1</sub> (裏込め土が良好な場合)			U <sub>2</sub> (裏込め土が普通な場合)		
	1:0.3	1:0.4	1:0.5	1:0.3	1:0.4	1:0.5
1.00	0.387	0.395	0.406	0.527	0.541	0.557
1.50	0.576	0.588	0.603	0.769	0.787	0.810
2.00	—	0.806	0.825	—	1.059	1.088
2.50	—	1.049	1.072	—	1.355	1.391
3.00	—	1.316	1.344	—	1.677	1.718
3.50	—	—	1.641	—	—	2.071
4.00	—	—	1.962	—	—	2.449
4.50	—	—	2.309	—	—	2.851
5.00	—	—	2.681	—	—	3.279

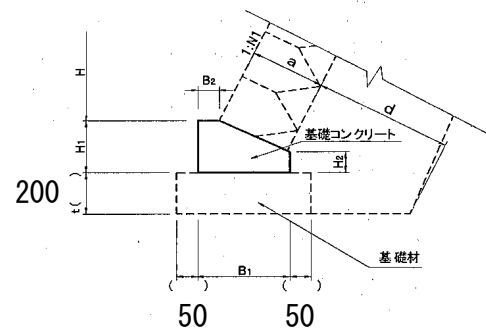
裏込め材料計算一般式 (m<sup>3</sup>)

$$A = \frac{(H+H_1+t-0.1)}{2} \left\{ 0.1^2 + 2a\sqrt{1+N_1^2} + 0.1(H+H_1+t) \right\}$$

天端コンクリート材料計算一般式 (m<sup>3</sup>)

$$A = 0.1(a+c)\sqrt{1+N_1^2}$$

基礎



基礎寸法表および材料表

a(控長)	寸法表				材料表 (1m当たり)		
	B <sub>1</sub>	B <sub>2</sub>	H <sub>1</sub>	H <sub>2</sub>	コンクリート(m <sup>3</sup> )	型枠(m <sup>2</sup> )	基礎材(m <sup>3</sup> )
350	430	100	250	100	0.083	0.350	

注意事項

1. タイトル( )内のH( ), U( ), N1( )内に該当する設計条件を記入すること。
2. 本標準図は、河川護岸用としてのみ使用できるものである。
3. 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを使用すること。
4. ブロックは、圧縮強度 $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$ 以上とし、1m<sup>2</sup>当たりの使用質量は、350kg以上であること。
5. 鋼込めコンクリートおよび基礎コンクリートは、 $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$ 以上とすること。
6. 裏込め材の寸法は、前面勾配に直角として表示してある。
7. 寸法表中の裏込め材厚さ(d)および材料表中の裏込め材の数量は、基礎材厚(t)を20cmと仮定してある。したがって基礎材厚がこれと異なる場合は、別途計算すること。
8. 比較的良好な地山の切土部に使用する場合は、裏込め材を上下等厚とし、材厚30~40cmとしてよい。
9. 基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途検討し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に明記すること。
10. 伸縮目地の間隔は、10m以下とすること。
11. 寸法表、材料表、基礎寸法表および材料表の該当する部分を赤線で囲むなど、使用箇所を明記するのがよい。